



ふれあい収集のご案内

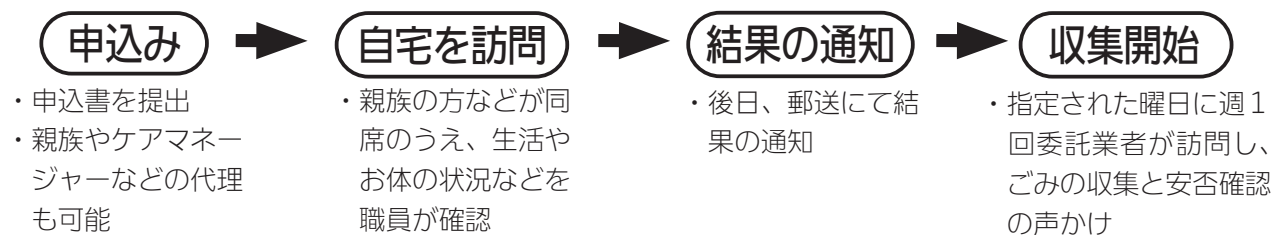
「ふれあい収集」とは、病気や障がい等の理由で、ごみや資源物をステーションまで運ぶことが困難な世帯について、自宅玄関まで収集に伺い、同時に安否確認を行う制度です。

【対象となる世帯】

以下の条件のうちいずれかを満たす独居世帯、または居住者全員が以下の条件を満たす世帯で、親族や近隣者の協力を得ることが困難であると認められる世帯

1. 介護保険法制度による要支援1から要介護5に該当する方
2. 身体障がい者手帳の交付を受け、障がい程度が1級から3級に該当する方
3. 療育手帳の交付を受け、知的障がいの程度がA判定に該当する方
4. 精神障がい者保健福祉手帳の交付を受け、障がいの程度が1級に該当する方
5. その他、上記に準ずる理由により、自らがごみステーションまでごみを搬出することが困難な方

【申込みから収集までの流れ】



問合せ 環境対策課 廃棄物対策係 ☎ 21-2118

家庭ごみの出し方



ごみ・資源物はきちんと分別しましょう！！



資源物収集において「プラスチック製容器包装」にその他の物が混ざっていると、再資源化の妨げとなるため収集できません。特に以下の物が混ざっていることが多いので、ご注意ください。

①紙類・割りばしなど

紙（レシート等も含む）や割りばしは「燃やすごみ」に出してください。

②他の資源物（缶・ビン、ペットボトル等）

缶・ビンは軽く水洗いして資源物ステーションのコンテナに、ペットボトルはラベルとキャップをはずして、軽く水洗いしたうえで資源物ステーションのネットに入れてください。水洗いしても汚れが取れないものは、再資源化できませんので「燃やさないごみ」に出してください。

また、ペットボトルにペットボトル以外のプラスチック容器（一部の食用油や洗剤の容器等）が混入していることがあります。ペットボトルとして収集できるのは、容器に右のマークが入っているものに限られますので、マークがないものは「プラスチック製容器包装」等に分別してください。



③汚れた弁当容器等

弁当の容器や食品のトレイ等は必ず異物や汚れを取り除いてから出してください。異物や汚れが取り除けないようなものは「燃やさないごみ」として出してください。

草刈りをした後の草等を、町指定のごみ袋以外の袋やダンボール箱等に入れて処理券（シール）を貼って排出していることがありますが、これは収集できません。必ず町指定のごみ袋（燃やすごみ）を使用して排出してください。

不適正と判断されて残されたごみ・資源物には、回収できない理由を記載したシールが貼られます。

自分の出したごみや資源物が残っていた場合には、一度持ち帰って正しく分別し直したうえで、次回収集日に再度排出してください。

●ステーションに残されたごみ・資源物で地域の方が大変迷惑しています！

排出ルール・詳しい分別については町発行の冊子、『家庭ごみの「分け方・出し方」』を今一度ご確認ください。町ホームページや町公式LINEアカウントでも確認できます。

悪質な不適正排出は、不法投棄として法律により厳しく罰せられる場合（5年以下の懲役、1,000万円以下の罰金）があります。

今一度、適切な分別ができていますかご確認をお願いします。



問合せ 環境対策課 廃棄物対策係 ☎ 21-2118